

令和 7 年度 スマート海上バス「ゆき姫」試験運航の結果について

1. 試験運航（昨年度及び今年度）の概要

「大崎上島町～竹原港」の航路において、自動運航機能付き船舶（スマート海上バス「ゆき姫」）を用いて、夜間・早朝の時間帯の旅客輸送サービス、及び週 1 日の生活用品等の輸送サービスを実施

実施主体：大崎上島町

事業運営：株式会社エイトノット

運航主体：有限会社バンカー・サプライ

〔A〕 旅客輸送

	令和 6 年度	令和 7 年度
試験運航の期間	令和 7 年 1 月 13 日（月） ～3 月 31 日（月）	令和 7 年 7 月 25 日 ～10 月 20 日
運航形態	定期航路 ※事前予約が必要、ただし予約がない便も運航	不定期航路 ※事前予約が必要、予約がない便は運航しない
運航曜日	夜間便：金曜日、土曜日、日曜日 早朝便：月曜日 ※フェリー営業時間外に運航	夜間便：金曜日、土曜日、日曜日 早朝便：月曜日 ※フェリー営業時間外に運航
航 路	大崎上島町（白水港/福浦港/鮎崎港） ～竹原市（竹原港ビジター桟橋）	大崎上島町（白水港/福浦港） ～竹原市（竹原港ビジター桟橋）
運 賃	1,000 円（消費税込） ※PayPay での支払い可	1,500 円（消費税込） ※PayPay での支払い可

〔B〕 貨物輸送

生協ひろしまの協力のもと、生野島住民が組合員となった上で、実際に暮らして必要な商品を、注文に応じて配送するサービスを実施。

なお、大崎上島では、生協ひろしまの宅配サービスが既に実施されているが、二次離島である生野島へは、配送コストの高さが支障となり実施できていない。そのため、本業務の二次離島への商品宅配サービスの実現は、生野島住民にとって期待が大きい。

〔参考：商品輸送当日の流れ〕

- ①月曜日に、商品を積んだ生協トラックが竹原港へ到着
 ⇒ ②トラックから船舶に積み替え（生協スタッフ他） ⇒ ③竹原港 11:15 頃出航
 ⇒ ④福浦港に到着 ⇒ ⑤乗船員が、商品を船舶から福浦港待合所へ運搬
 （福浦港待合所から各世帯への配送は、島民が実施）

■スマート海上バス ゆき姫



※乗船定員 12 名で運航

■周知ツール等（令和 7 年度）

<ポスター>

<チラシ（2 種類）>

<立て看板>

<テレビ取材>



2. 試験運航の結果

〔A〕旅客輸送サービスの結果

①利用者数

令和7年度事業における利用者数は42人であり、昨年度事業よりも少ない結果となった。

※令和6年度と比べると、令和7年度は「飲食」や「試乗」目的などの利用が少ない。(次ページ参照)

表 運航回数と利用者数

	令和6年度	令和7年度
運航回数	40回	20回
利用者数(人)	80人	42人

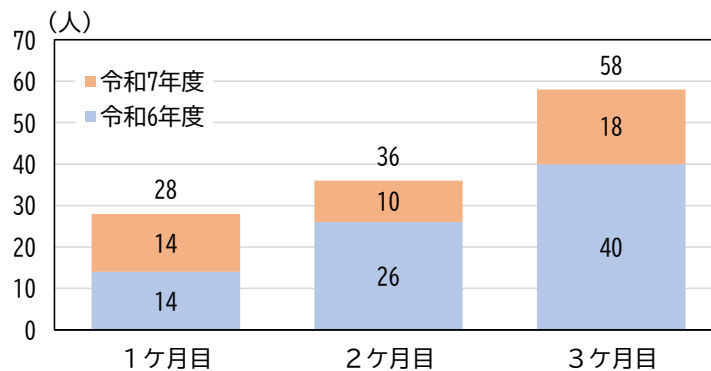


図 利用者数の推移

②利用曜日と区間

利用曜日は、令和7年度では「土曜日」の利用が最も多いが、令和6年度との合計では「金曜日」の利用が多い。

利用区間は、令和6年度、令和7年度の両方で「竹原→大崎上島」の利用が多い。

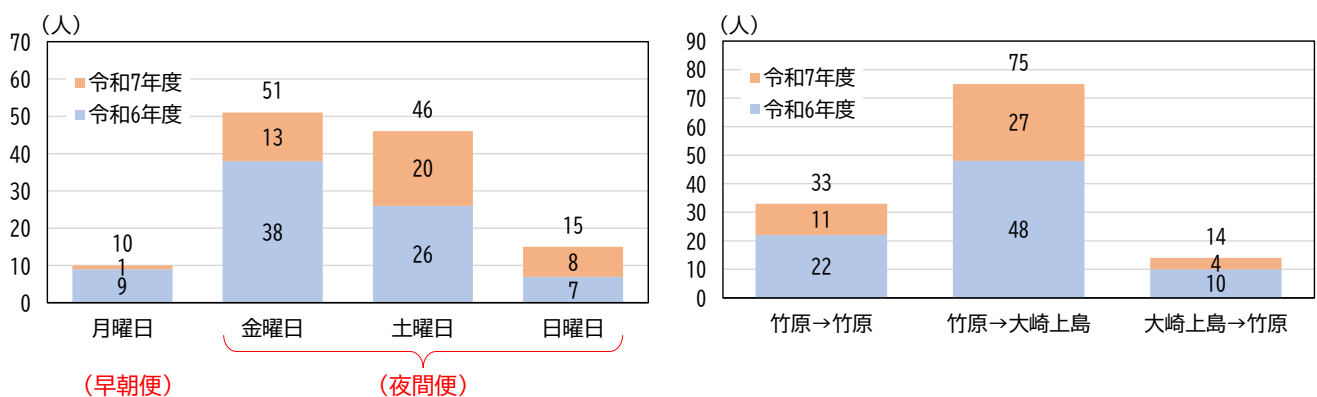


図 利用曜日・区間

③利用者アンケートより

注) R7 年は 9 月末までの回収結果より

ア) 利用された目的

「ゆき姫」を利用した目的は、「飲食」「レジャー」「試乗」が多い。年度別では、令和 6 年度は新年や年度末の飲食機会が多い時期でもあり「飲食」の割合が 34%と高く、令和 7 年度は夏～秋の時期であることから「レジャー」目的の割合が 39%と多い。

また、「試乗」を目的とする利用は、令和 6 年度が 25%であり、令和 7 年度の 17%よりも多い。

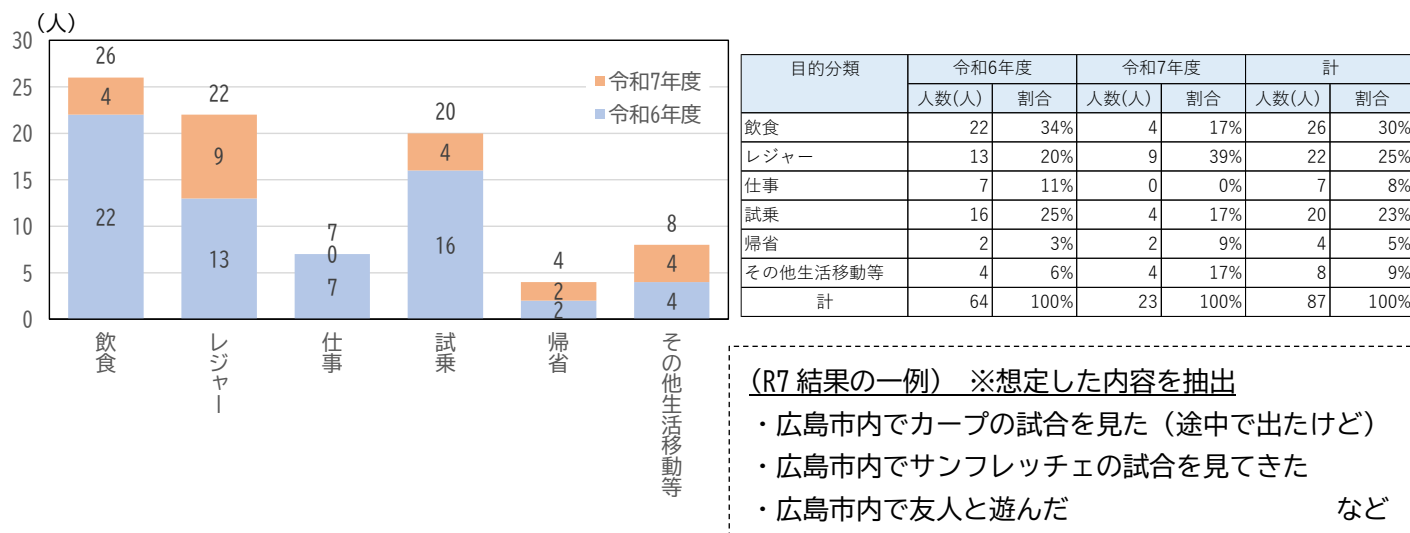


図 利用した目的

イ) 支払ってもよい運賃

支払ってもよい運賃では「2000 円以上」の回答が最も多いが、年度別でみると、令和 6 年度は「2000 円以上」が 38%を占め最も多く、令和 7 年度では「1500～2000 円」が 35%と最も多い。

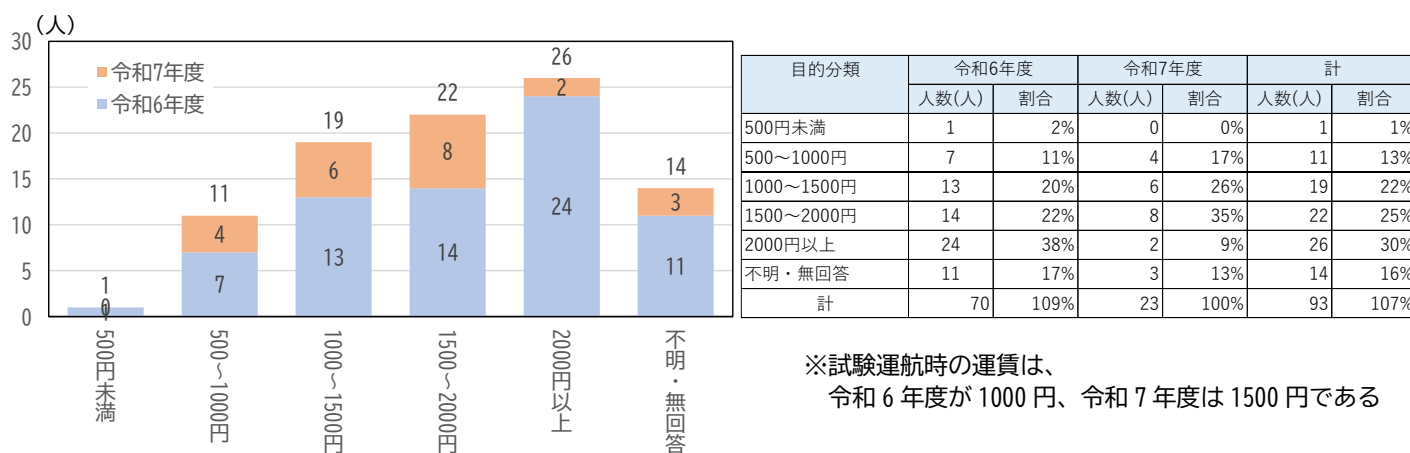


図 支払ってもよい運賃

ウ)本格運航後の利用意向

本格運航後の利用意向は、令和 6 年度、令和 7 年度ともに、「おそらく利用する」が最も多い。また、「絶対に利用する」と回答した人は約 2 割である。

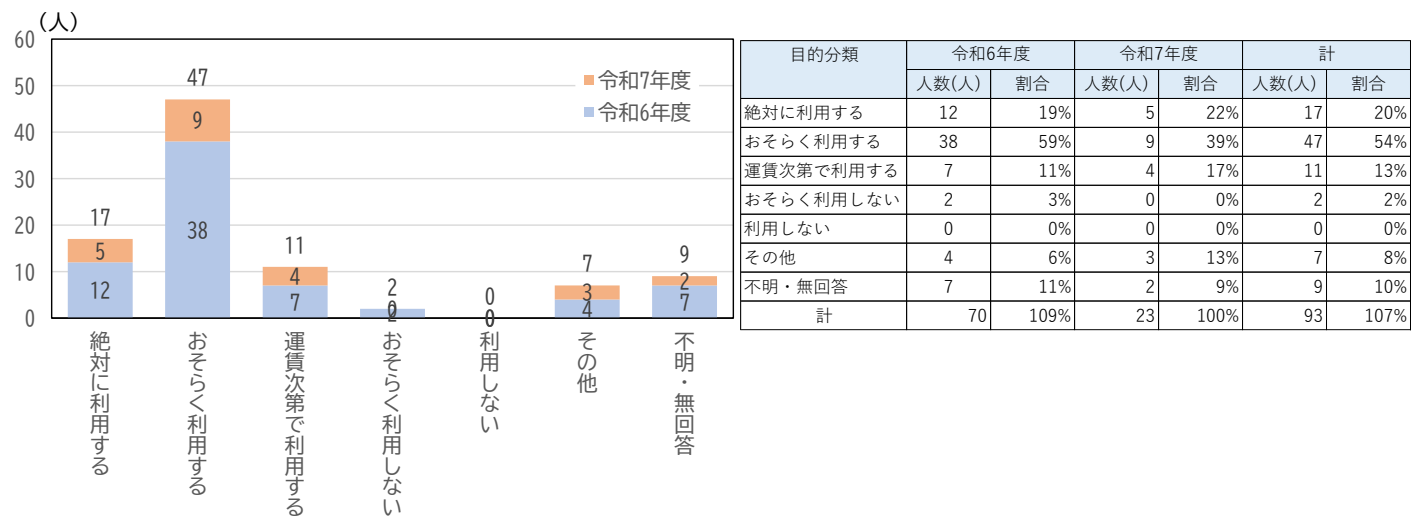


図 本格運航後の利用意向

[B] 貨物輸送サービスの結果

●受注実績

- ・試験運航期間における、生協ひろしまの商品を配送可能な日数は、令和 6 年度が 12 日、令和 7 年度が 13 日である。
- ・その全ての日において、商品配送が発生したことより、生野島住民に好評だったといえる。